

## 令和6年度丹波篠山市学力・生活習慣状況調査および、全国学力・学習状況調査の結果の概要

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査および全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

以下に、今回の調査についての本校の分析結果をまとめました。この調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫・改善に努めます。これからも本校の教育活動に対してご支援いただければ幸いです。

## 調査について

## ○丹波篠山市学力調査

- ・実施日 令和6年4月18日（水）
- ・本校対象学年 1年生・2年生
- ・調査教科 国語 数学（算数）
- ＊1年生は小学校までの学習内容
- 2年生は中1までの学習内容

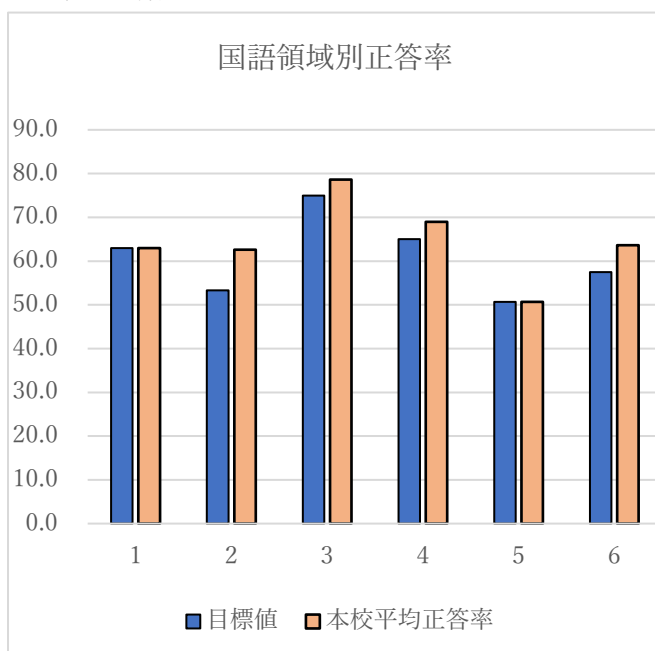
## ○丹波篠山市生活習慣状況調査

- ・実施日 令和6年5月（日時はクラスにより異なる）
- ・本校対象学年 全学年

## ○全国学力・学習状況調査

- ・実施日 令和6年4月18日（水）
- ・本校対象学年 3年生
- ・調査教科 国語 数学
- ＊中2までの学習内容
- 生徒質問紙調査

## 1年生国語



領域1：言葉の特徴や使い方に関する事項

領域2：情報の扱い方に関する事項

領域3：我が国の言語文化に関する事項

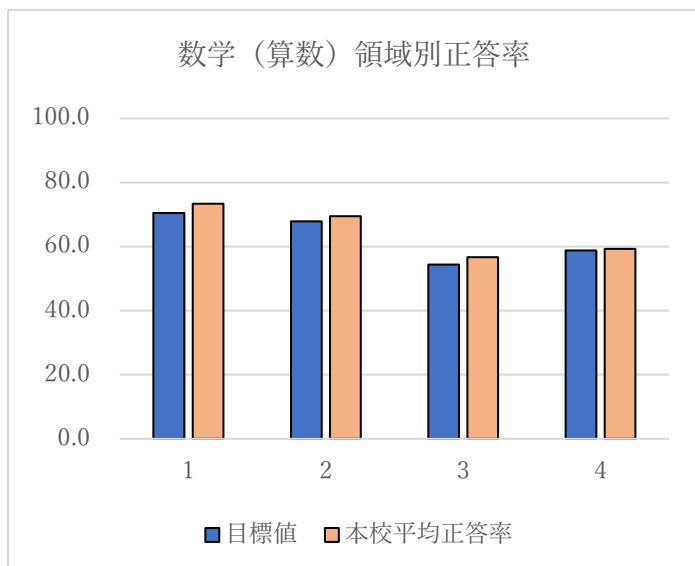
領域4：話すこと・聞くこと

領域5：書くこと

領域6：読むこと

1年生国語は、全体として目標値をやや上回る結果でした。領域別では言葉の特徴や使い方に関する事項、書くことについては目標値と同程度であり、今後伸ばしていくべきところです。以上の結果を踏まえ、これからの授業においては資料の読み取りや登場人物の心情、自分の思いなどを記述する場面を増やしていきます。また、他者との文章の比較を通じて、自分の考えを推敲し、書いた意見を対話的に級友と交流するなどして、多面的・多角的な視点でより深い学びを意識していきます。

## 1 年生数学（算数）



領域 1：数と計算

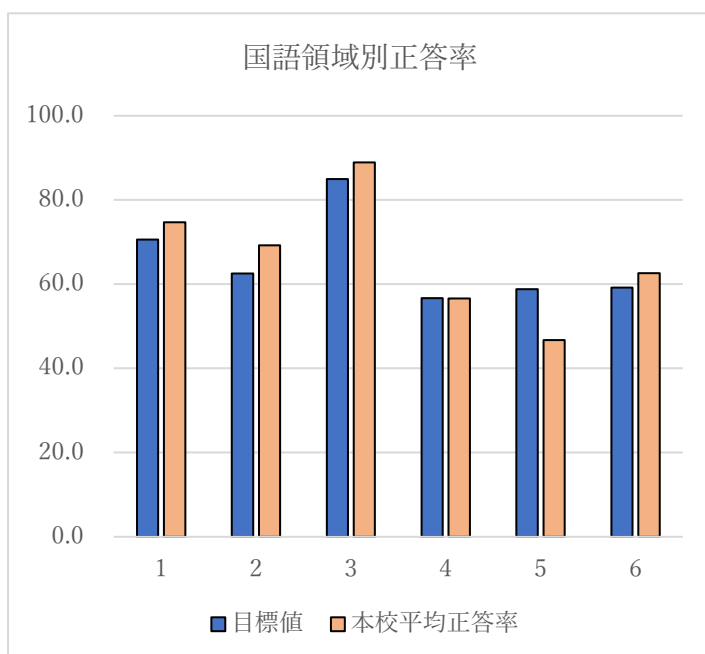
領域 2：図形

領域 3：変化と関係

領域 4：データの活用

1 年生数学は、全体として目標値を上回る結果でした。領域別では、全ての領域で目標値を上回り、小学校での基礎学力が身につけていることが確認できました。しかし、記述式の問題において無回答が多く、自分の考えを言語化することには課題があります。考えを整理し、それを論理的に表現する機会を増やし、日々の授業で小規模な記述練習を取り入れ個別にフィードバックを行い、どのように考えを展開すれば良いのか、どのように表現すれば適切かを具体的に指導していきます。

## 2 年生国語



領域 1：言葉の特徴や使い方に関する事項

領域 2：情報の扱い方に関する事項

領域 3：我が国の言語文化に関する事項

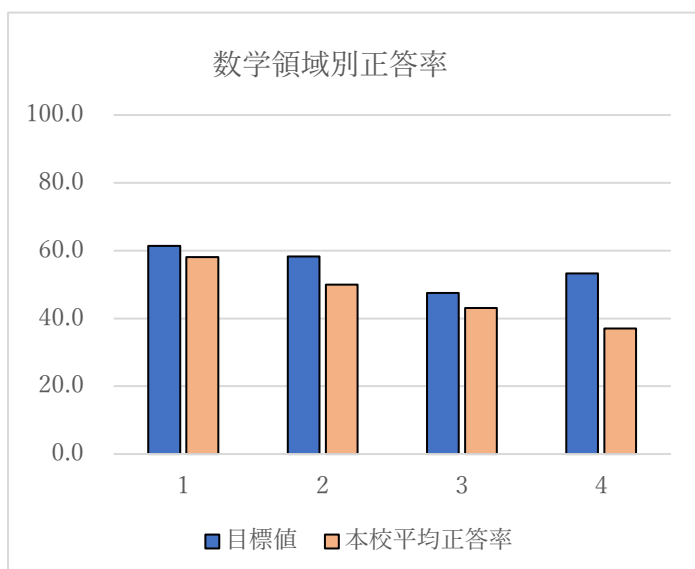
領域 4：話すこと・聞くこと

領域 5：書くこと

領域 6：読むこと

2 年生国語は、全体としては目標値を上回る結果でした。昨年度から取り組んでいる漢字の読み書きの学習と語彙力を高める学習が一定の効果をあげていると思われます。一方、「書くこと」については、昨年度に引き続き、特に課題が見られます。今後の学習の中で、正解がある問題だけではなく、根拠を基に、自分自身の考えを書くこと、条件に合わせて文章をまとめること等を学習に積極的に取り入れ、主体的に取り組む態度の育成に取り組めます。

## 2 年生数学



領域 1：数と式

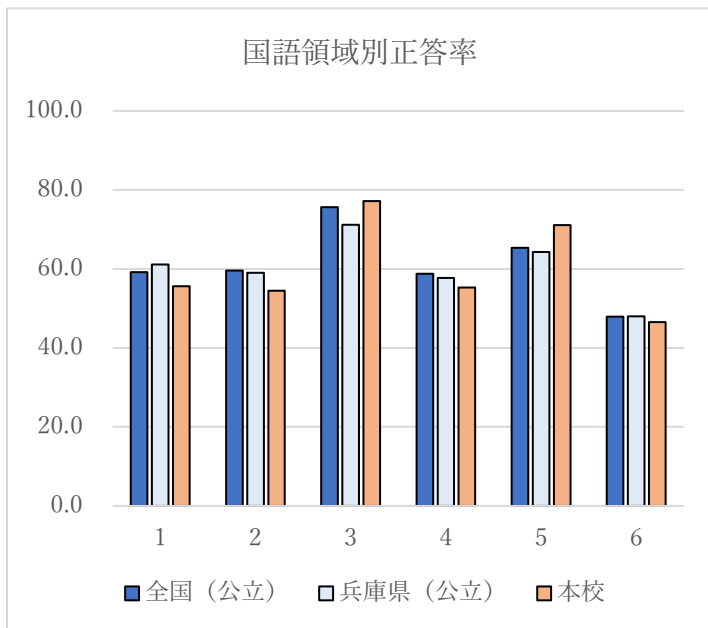
領域 2：図形

領域 3：関数

領域 4：データの活用

数学はどの領域も目標値を下回る結果でした。しかし、数と式については定着してきている様子が見られ、関数についても授業で変化の事象を多く扱ってきて理解が深まってきていると思われます。昨年度の課題であったデータの活用については、まだ資料の整理や見方などの定着が不十分でした。今後も計算練習を継続して行い、基礎的なことが定着しているところを認めて自信を持たせていきます。また、小グループで交流する機会を増やし、それを全体で共有することによって、事象についての理解を深めていきます。

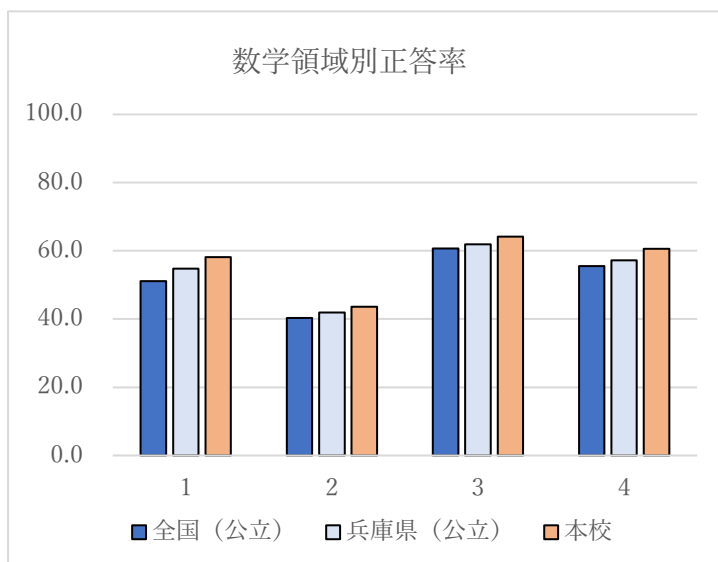
### 3 年生国語



領域 1：言葉の特徴や使い方に関する事項  
領域 2：情報の扱い方に関する事項  
領域 3：我が国の言語文化に関する事項  
領域 4：話すこと・聞くこと  
領域 5：書くこと  
領域 6：読むこと

3 年国語は全国や兵庫県と比べて概ね同程度の結果でしたが、領域 3 の我が国の言語文化に関する事項と領域 5 の書くことで着実な学力の向上がみられました。言語の特徴や使い方に関する事項を強化して、日常生活の中で様々な言語を的確に使用できるように学力の定着を図ります。また、他の領域でも話し合い活動等を重点的に行い、情報の扱い方を学ぶなどに取り組んで更に学力の定着につなげていきます。

### 3 年生数学

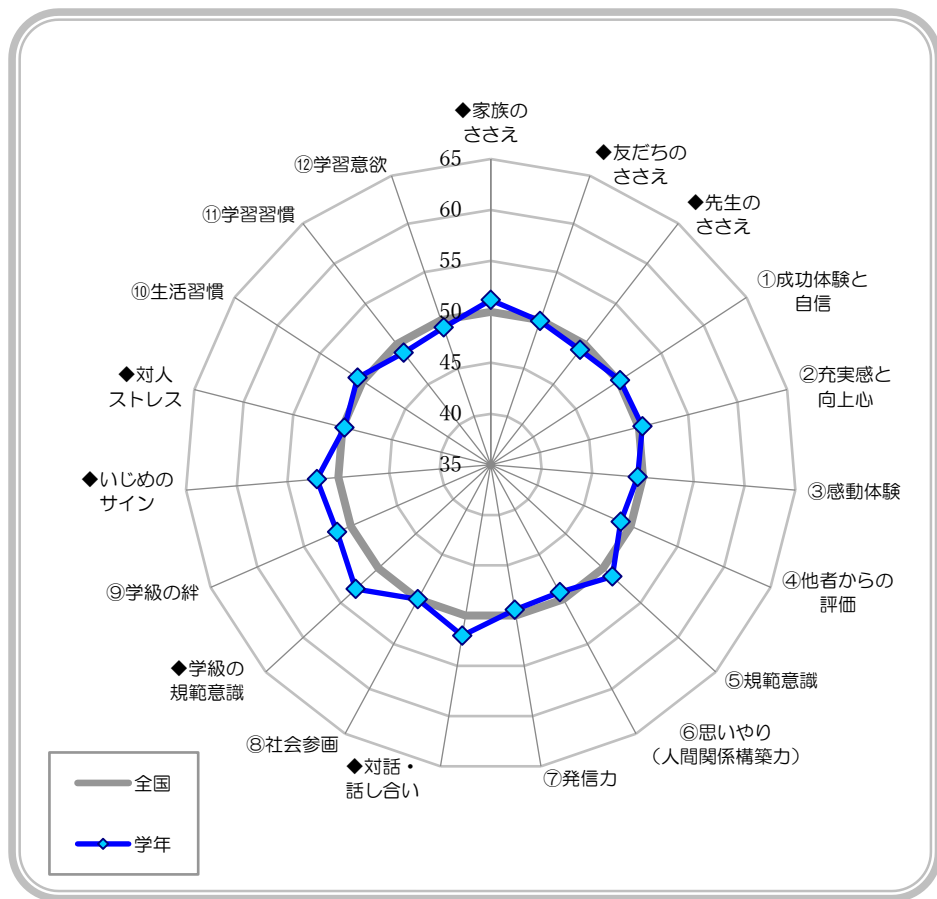


領域 1：数と式  
領域 2：図形  
領域 3：関数  
領域 4：データの活用

四領域ですべて全国や兵庫県を上回る結果でした。特に昨年度課題であった「データの活用」では、日頃から数学の授業で箱ひげ図や度数分布表などにふれる機会を増やしたり、小集団で表から読み取れることを話し合ったりしてきました。そのため、知識・技能が高まり、複数集団のデータ分布の傾向を比較して読みとったり、判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりする力がついたと思われます。また、思

考力を生かして考察できる生徒が多く、生徒自身が問題解決していく力が育っています。しかし、それを正しく記述することに課題があるため、今後はさらに小集団で説明し合う機会を増やし、自信を持って正しく記述できる力を伸ばしていきます。

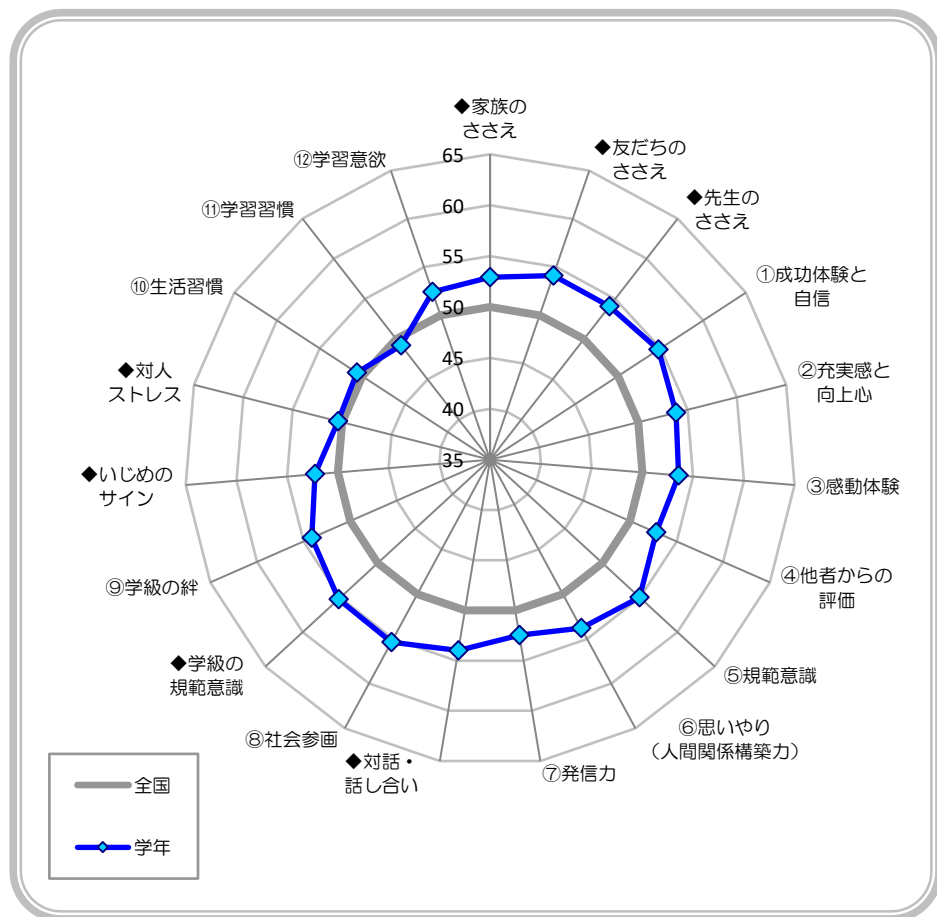
1 年生 市生活習慣状況調査 \* 全国平均を 50 として結果を標準化しています



1 年生は、全ての項目で全国平均と同程度でした。その中でも、「いじめのサイン」「学級の規範意識」「学級の絆」「対話・話し合い」などが全国平均を上回る結果となりました。「いじめのサイン」に関しては、値の高い方が良好(心配のない状況)となっており、新しい環境の中でも規範意識を大切にし、周囲と協力しながら温かい集団の雰囲気を醸成しようとしていることがうかがえます。

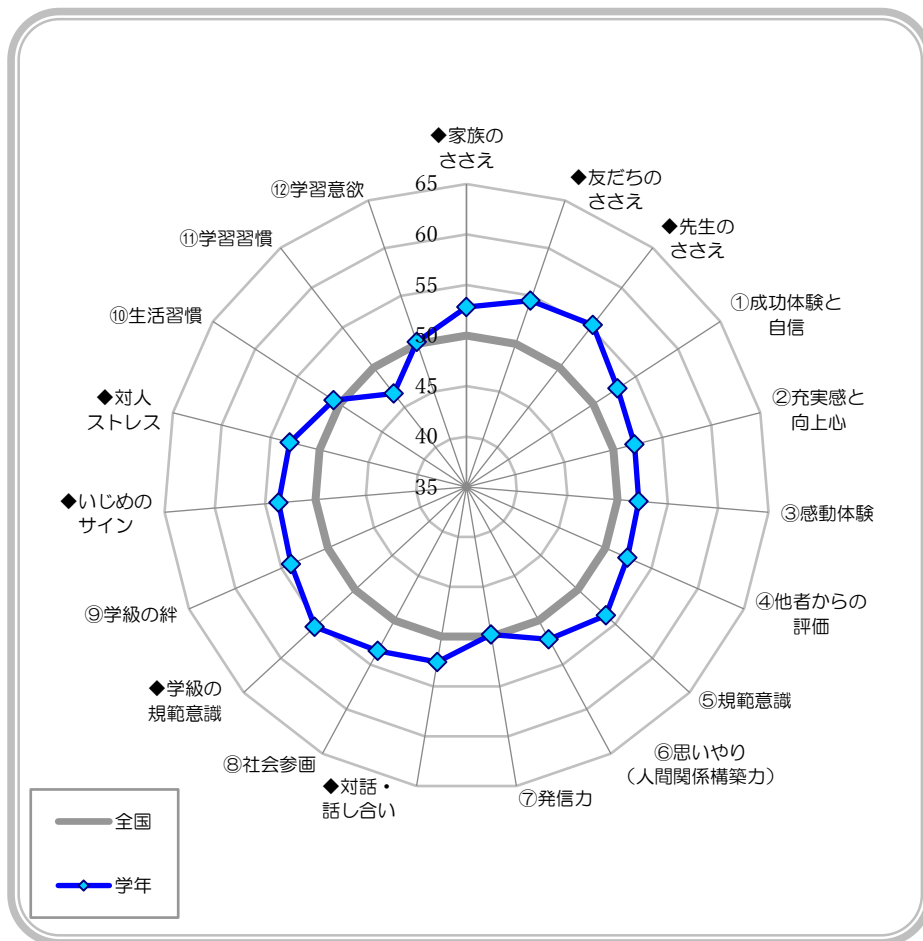
一方で、「学習意欲」「学習習慣」「他者からの評価」などが、やや低い結果となりました。学習が苦手な生徒にとって、結果だけを求めることは意欲の向上や習慣の定着に繋がりにくくなると考えられるので、生徒自身がどのように取り組んだかを重視し、過程を評価していく機会を増やしていきます。

2 年生 市生活習慣状況調査 \* 全国平均を 50 として結果を標準化しています



2 年生はほぼすべての項目で全国平均を上回り、多くの人の支えを感じながら、落ち着いて生活できていることが伺えます。特に友だちの支え、規範意識、いじめのサインに気づける力が高くありました。また、1 年生から伸びている項目が 8 項目あり、中学校 1 年生での生活体験がプラスになっていることが伺えます。

全国平均よりやや下回っているのが学習習慣で、昨年度からの課題が継続しています。毎日学習する生徒が少なく、週に、2、3 日程度の学習にとどまる生徒が多いこと、ゲームを 4 時間以上する生徒が最多であることなどの実態がありました。学校での学習と家庭での学習習慣をつなげて、生徒が自主的に課題を解決できるように取り組んでいきます。



3 年生はほとんどの項目で全国平均を上回り、良い環境の中で日々の生活を送れていることが伺えます。特に、友だちの支えや先生の支えはポイントが高く、周りの人に支えられて充実した生活を送れているようです。そのため、周囲の人々への信頼を感じている生徒も多くいて、学校生活が楽しく、人間関係に満足して生活できています。規範意識も高く落ち着いた生活が送っていますが、ポイントは昨年度より下がっています。時間を守る・約束を守るなど身近なことから再確認していきます。

学習習慣の項目は全国平均より 3.3 ポイント低くなっていて、学習意欲をあげていくことが課題です。進路実現に向けて、学力の定着のためにも家庭学習習慣や学習方法を確立するように指導していきます。

また、昨年度同様発信力も課題なので、自分の考えや意見を伝えられるよう面接や小論文指導と共に指導していきます。

3 年生は全国学力・学習状況調査でも質問紙調査がありました。質問内容は若干違いますが、その結果も市の調査に照らし合わせると概ね同じ結果で、多くの項目で肯定的な評価が全国や兵庫県の平均を上回っていました。特に「朝食を毎日食べていますか」では毎日食べている生徒が 82.9%と高く、良い家庭生活習慣の中で生活を送っていることが伺えます。「自分には、良いところがあると思いますか」では 90.2%の生徒が、肯定的な回答をしていて、日々の生活で充実感を得て生活ができているようです。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」では 94.3%の生徒が肯定的な回答をしていたり、学校が楽しいと回答している生徒が多かったりすることから充実した学校生活をしていることが伺えます。

一方で家庭学習の時間は全国や兵庫県の平均と比べても少なく、有意な差がみられます。「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」では「きちんと守っている、だいたい守っている」が 70.7%で全国平均よりやや低い値でした。学校でもタブレットを用いて学習することが増え、電子機器の取り扱いに慣れ親しんでいます。学校でも情報機器をどのように使うかのマナーやルールを再確認し、規範意識を高めていけるように指導を続けますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

〔まとめにかえて〕

#### 学力向上について

本校では「授業スタンダード」を定め、特に対話を重視して個と集団を思考が行き来する「主体的・対話的で深い学び」を進めています。今回の調査ではどの学年も概ね目標値や全国平均と同程度の状況であり、少しずつ学力の定着が進んでいる面も見られました。ただ、自分の考えなどを記述することには課題もあります。この結果を踏まえ、今後も各学年各教科の実態に応じて更に工夫した授業づくりを進めていくとともに、ICTの活用や授業のユニバーサルデザイン化を進めて一人一人の力を更に伸ばしていけるように取り組んでいきます。

#### 生活習慣等について

どの学年も全国平均と同じか上回る項目が多く、規則正しく落ち着いて前向きに生活ができていることが伺え、普段の学校生活もそれが反映されています。保護者の皆様や地域の皆様の支えがあることにも感謝いたします。今のこの状態を礎として、様々な活動を通じて学校教育目標の「未来を切り拓く基礎力・思考力・実践力を持ち、支えあい学びあう生徒の育成」を実現できるようにこれからも取り組んでいきます。

課題としては昨年度に引き続いてどの学年も家庭での学習時間については全国平均より短い結果であったこと、SNSやインターネットの利用、ゲームや動画の視聴時間が長い傾向であることがあげられます。この二つは互いに関係していることもあると思われます。トラブルにつながる危険性が高まったり、生活習慣や学習面に悪い影響が出たりすることが考えられるので、生徒自らが好ましい生活習慣を築けるように学校でも指導を続けていきます。あわせてご家庭でもお子様と話し合ってくださいよう、お願いいたします。